

平成26年度の 栗生線・全線における第1種輸送人員の対前年増減率等

	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)
栗生線・定期外	0.6	-2.5	1.0
全線・定期外	-0.5	-0.5	0.3
栗生線・定期	0.0	-2.1	0.8
通勤	-3.1	-2.4	-0.3
通学	4.2	-1.7	2.1
全線・定期	-0.5	-1.0	1.2
通勤	-0.7	-0.8	0.8
通学	-0.1	-1.5	2.0
栗生線・合計	0.2	-2.2	0.8
全線・合計	-0.5	-0.8	0.9
栗生線・輸送人員 (単位:万人/年)	682	667	672



(単位: %)

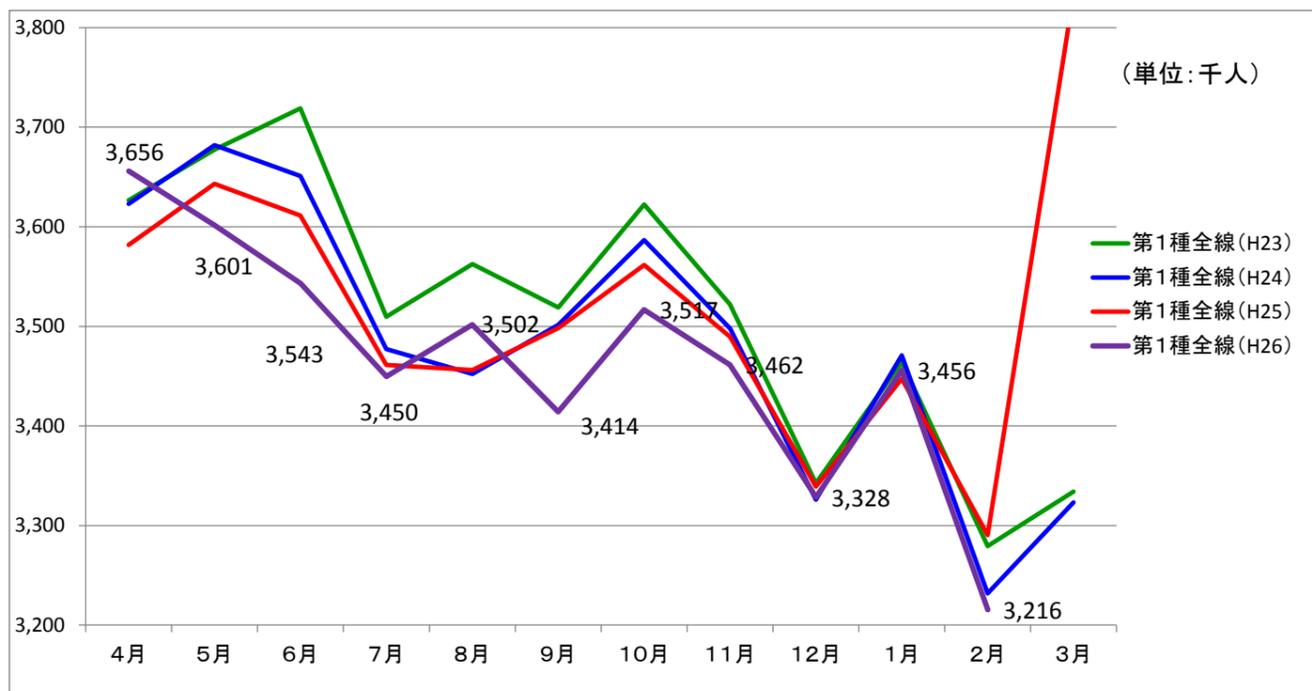
	平成26年度 (4~2月)	平成26年度 (4月)	平成26年度 (5月)	平成26年度 (6月)	平成26年度 (7月)	平成26年度 (8月)	平成26年度 (9月)	平成26年度 (9月)	平成26年度 (10月)	平成26年度 (11月)	平成26年度 (12月)	平成26年度 (1月)	平成26年度 (2月)	平成26年度 (3月)
栗生線・定期外	0.0	-3.4	-5.6	26.5	-1.0	-4.9	13.5	-3.0	-4.2	-6.0	-1.8	-11.7		
全線・定期外	-1.7	-3.3	-4.6	2.9	-1.2	-2.0	2.6	-0.5	-2.4	-2.2	-0.3	-7.0		
栗生線・定期	-1.3	10.4	4.0	-3.9	2.2	0.0	-8.0	-6.2	-3.6	-2.3	-3.4	-3.6		
通勤	0.2	4.4	-0.5	-0.5	0.7	1.3	-1.9	-2.9	0.4	0.2	1.1	0.3		
通学	-3.2	17.9	9.1	-7.8	4.3	-1.6	-14.7	-9.6	-8.2	-5.6	-8.4	-8.8		
全線・定期	0.0	5.0	0.6	-4.3	0.1	3.2	-4.9	-1.6	0.1	0.8	0.6	0.4		
通勤	1.2	5.1	1.0	0.6	1.7	2.4	-2.4	-1.2	1.4	1.7	1.8	1.5		
通学	-2.3	4.9	0.1	-12.2	-2.8	4.8	-9.2	-2.4	-2.1	-0.9	-1.5	-1.8		
栗生線・合計	-0.9	6.0	1.0	6.0	1.2	-1.7	-1.5	-5.2	-3.8	-3.6	-2.9	-6.3		
全線・合計	-0.6	2.1	-1.1	-1.9	-0.3	1.3	-2.4	-1.3	-0.8	-0.3	0.3	-2.3		

⇨ 仮に、3月が平成24年度と同じ51万人であった場合の見込。  
 12月~2月が平成24年度と比べて▲1.0~2.0%減少で推移していることや「高校の一時移転」・「三木市神戸電鉄福祉バス  
 (次年度廃止)」等による押し上げ効果(約17万人)を勘案すれば、**実力値は640万人**。

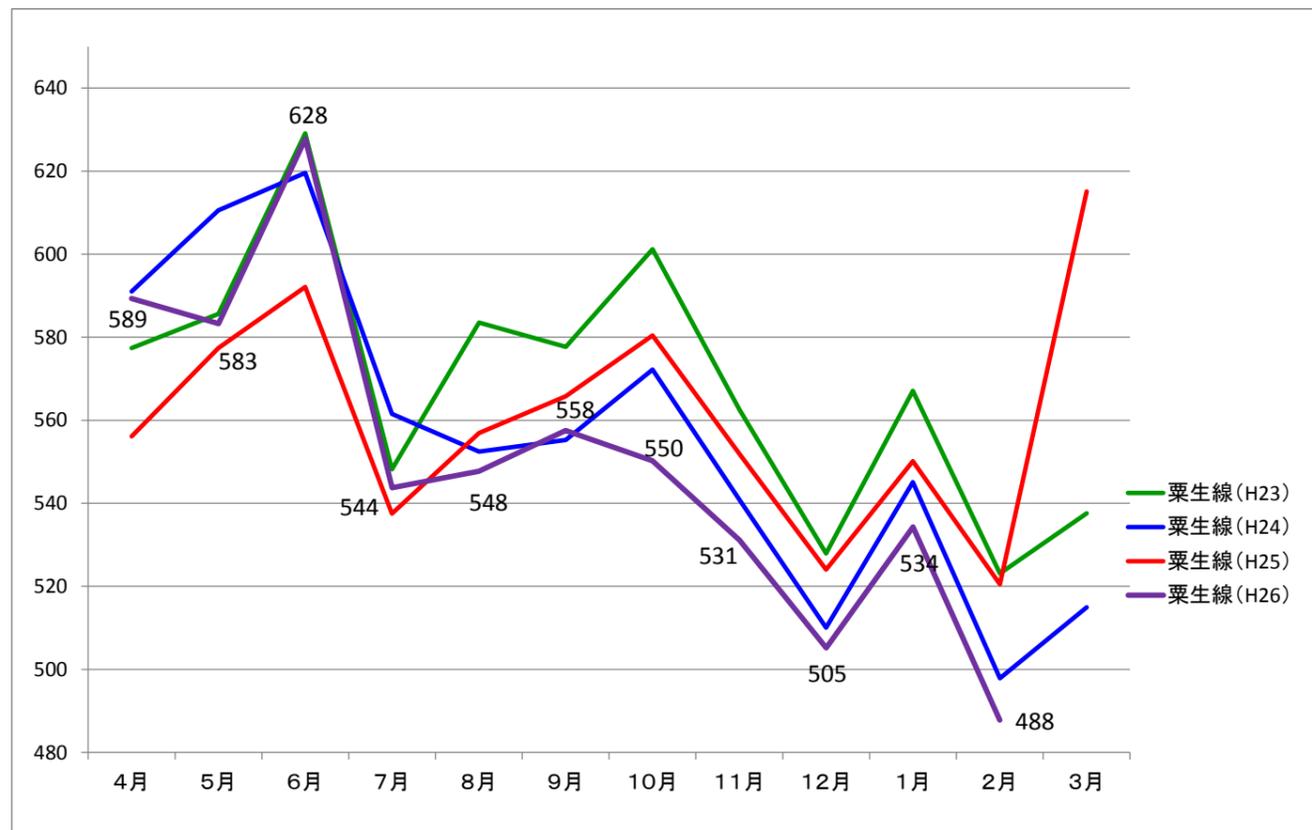
**【対前年増減率に関する分析】**  
 ◆「消費税率変更に伴う先買い」・「高校の一時移転」・「2014年2月の降雪」など前年度の輸送人員を大きく嵩上げていた  
 特殊要因がなくなったこととの反動から、**栗生線の年間輸送人員は前年度比▲15万人(▲2.2%)と大幅な減少**となる見込み。  
 ・定期外は各線とも対前年マイナス基調で推移。6月・9月の対前年プラスは、三木市の福祉乗車制度において、すずらんカードが廃止され  
 8日間フリーパスに一本化された影響(本年6,710枚交付一昨年1,241枚交付)すずらんカード交付6,610枚  
 ・定期は、通勤が堅調に推移している一方、学生数の減少等から通学が対前年マイナス基調。特に栗生線では、「高校の一時移転」の反動  
 による大幅なマイナスが本年8月まで継続する見込み。  
 <路線別対前年増減率> 通勤: 有馬線(+0.3%) 三田線(+3.8%)、公園都市線(+5.1%)  
 通学: 有馬線(▲1.9%) 三田線(▲1.8%)、公園都市線(▲6.3%)

# 神戸電鉄栗生線・全線における第1種輸送人員の状況（平成26年度）

## ■全線合計



## ■栗生線合計



## ■栗生線券種別

